

自分の言葉で思いや考えを伝える

本市の英語教育の歩みは、平成8年度に成田小学校が文部科学省から研究開発学校に指定されたことから始まりまし
た。現在は、教育課程特例校として認定を受け、全ての市立
学校で市独自のカリキュラムを編成し、子どもたちの英語力
を育んでいます。

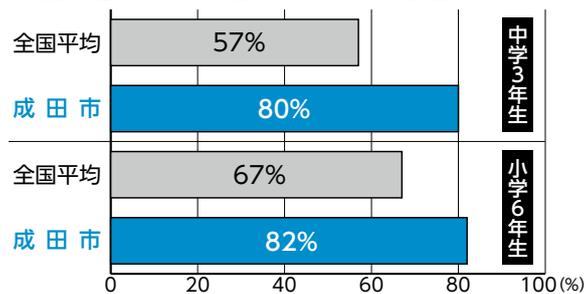


ALTと日本人教師による授業(吾妻小)

英語好きな成田っ子！

令和3年度に行った調査(左図)によると「英語学習が好き」と答えた本市の子どもの割合は、小学6年生は82パーセント、中学3年生は80パーセントで、いずれも全国平均を上回る数字となっています。この結果は市独自のカリキュラムで進めている英語教育によって、子どもたちが英語を楽しんで学んでいることのと表れであると捉えて

「英語学習が好き」と答えた子どもの割合



出典：「令和3年度全国学力・学習状況調査」
「令和3年度成田市英語科アンケート集計結果」

います。

英語好きを育てる 本市の取り組み

英語が好きなお子もたちを育てるために、本市が行っている英語教育の取り組みを紹介します。

市独自のカリキュラム

全国の多くの小学校で3年生から始まる英語の授業が、本市では1年生から始まります。

小学校では買い物など英語を使う場面を設定し、歌やゲームを取り入れ、外国人英語講師(ALT)と楽しみながら、コミュニケーション能力の基礎を養っています。

中学校では標準授業時間数に加えて行う拡充英語で、自己表現を中心とした授業を実施し、小学校で身に付けたコミュニケーション能力をさらに伸ばしています。

ALTの全校配置

子どもたちが自然な英語に慣れ親しみ、外国の文化への理解を深めるため、全ての市立学校にALTを配置しています。現在、45人

のALTが学級担任や英語の担当教員と共に授業を行っています。小学1年生から外国人と接することで、物おじしない態度を育てるとともに人との触れ合いを大切にする英語教育を進めています。

教師向け研修の充実

市では、英語授業の質を向上させるために、教師を対象とした研修を行っています。大学教授による理論研修、ALTと日本人教師との合同研修のほか、タブレット端末を活用した授業方法など、その内容はさまざまです。

今後子どもたちの「間違いを恐れず、積極的に英語で自分の思いや考えを伝える姿勢」を育み、国際都市成田の未来を担うことのできる人材の育成を目指し、英語教育を進めていきます。

※くわしくは教育指導課(☎201582)へ。



質の良い授業のために教師向けの研修